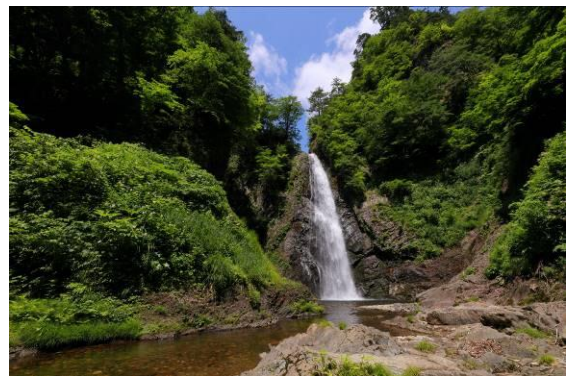


■新規 □継続 □継続【一部新規】

要 望 事 項	白神山地世界遺産登録30周年を契機とした観光振興の推進について
---------	---------------------------------

要 望 先	国	
	県	観光国際戦略局観光企画課、誘客交流課 環境生活部自然保護課

要 望 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 世界遺産登録30周年に向けた組織体制の整備について</li> <li>○ 世界遺産登録30周年を契機とした誘客促進の強化について</li> </ul>
現 状 と 課 題 ・ 具 体 的 内 容 ・ 効 果 等	<p><b>【現状と課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 原始的なブナ林を中心に多様な生態系を有する白神山地は、後世に伝えるべき人類の宝であり、青森県を代表する地域資源として保全と活用による共生の取組が求められております。</li> <li>○ 令和5年に白神山地が世界遺産登録30周年を迎えることから、「白神の価値」を地域の誇りとして再認識するためにも、県全体として機運の醸成に向けた取組が必要となります。</li> <li>○ 当市では、白神山地の価値の創造と魅力の発信を目的に、西目屋村や関係団体と「白神山地活性化実行委員会(会長：弘前市長)」を組織し、新しい体験プログラムの活用や首都圏等におけるキャンペーンなど誘客促進事業に取り組んでおり、加えて環白神エコツーリズム推進協議会に加入し、秋田県側を含めた広域連携の継続・強化を図っております。</li> <li>○ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う外出自粛等により、令和2年度の白神山地への入山者数は2万8千人と前年度比で約3割減少しており、地域の観光産業にも多大な影響が見られ、より一層の誘客促進が必要となっております。</li> <li>○ 遺産登録地域周辺の受入環境については、登録された地域の自治体が整備を進めておりますが、限られた財源の中では十分な整備を行うことが困難となっております。安全な誘客を図るためにも迅速に受入環境の充実を図る必要があります。</li> </ul>



[白神山地の名勝「暗門の滝」]

### 【具体的内容】

- 白神山地世界遺産登録30周年を効果的に盛り上げていくため、県が先頭に立ち、同様に世界自然遺産に登録されている地域の自治体及び世界文化遺産として登録された北海道・北東北縄文遺跡群を有する関係自治体等と連携を図り、機運醸成に向けた取組を一丸となって進めてくださるようお願いいたします。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により停滞した白神山地の観光産業を活気付けるため、白神山地世界遺産登録30周年を全面に押し出し、秋田県とも連携しながら白神山地の魅力を積極的に情報発信し、誘客促進を図ってくださるようお願いいたします。
- 平成5年に同時に登録された屋久島と連携して首都圏プロモーションを実施するなど、県が主導した共同誘客PR事業の実施を検討くださるようお願いいたします。
- 多くの方に訪れていただき、観光客等が快適に白神山地の魅力を満喫するためには、受入環境を迅速に充実させることが必要不可欠であることから、世界遺産入口周辺の整備並びに世界自然遺産及び世界文化遺産へのアクセス面での玄関口であるJR弘前駅へのガイダンス設備等の整備をはじめとしたハード面につきまして、財政的な支援をお願いいたします。

### 【効果等】

- 身近な白神山地が世界遺産登録30周年を迎えることを、県民をはじめ多くの方々に知っていただくことで価値や魅力の再認識につながり、連携の促進が期待されます。
- 白神山地への誘客促進の強化により、認知度及び興味度が向上し、弘前公園や十和田湖など、他の観光資源と組み合わせることで、青森県への旅行需要が喚起され、観光による交流人口の増加が図られます。



[登録30周年を迎える白神山地]

現在までの主な経過・参考事項

#### <主な経過>

平成5年12月	白神山地世界自然遺産登録
平成23年2月	環白神エコツアーリズム推進協議会設立
平成24年2月	一般財団法人白神山地財団設立
平成25年4月	白神山地世界遺産登録20周年記念事業実行委員会設立
平成25年6月	弘前・西目屋エリア白神山地世界遺産登録20周年記念事業実行委員会設立
平成25年12月	白神山地世界遺産登録20周年
平成26年6月	白神山地活性化実行委員会設立（旧「弘前・西目屋エリア白神山地世界遺産登録20周年記念事業実行委員会」）
平成28年10月	津軽ダム完成
平成30年12月	白神山地世界自然遺産登録25周年
令和2年6月	白神山地PRラッピングバス運行（弘前市内）

〈白神山地入山者数〉							(単位：人)	
平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	
29,166	19,734	25,200	35,363	33,011	24,296	38,382	28,217	
※環境省 白神山地世界遺産地域及び周辺地域入山者数調査より								

担当部課：観光部国際広域観光課

県の処理方針（観光国際戦略局 観光企画課・誘客交流課）	
経緯	<p>(情報発信)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新型コロナウイルス感染症収束を見据えた観光需要の喚起に向け、SNS を活用した情報発信を展開しており、白神山地の見どころのひとつである暗門の滝についても情報発信し、多くの露出が図られたところです。</li> <li>○また、マウンテンサイクルの専門家を招請の上、サイクリング専門雑誌に白神ラインのツーリング記事を、地域の方との交流の様子なども含めて掲載することによって、白神山地の魅力をPR しました。</li> </ul> <p>(誘客促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○白神山地エリアへの誘客を目的に、秋田県や J R 東日本秋田支社と連携し、J R 東日本が開催しているカルチャースクール「趣味の会」の会員を対象として白神山地の豊かな自然や文化を学び、本県へ旅行する動機づけへとなる講座を開催しているほか、「ブナの学校 現地校」と称して、ガイドが案内する白神山地でのトレッキング等を組み込んだ団体ツアーを実施するなど、誘客促進に取り組んできたところです。</li> <li>○令和 3 年度においても、これまでと同様に誘客促進に取り組むこととしていたところですが、感染状況が収束していないことを踏まえ、東京都内で予定されていた講座の開催は中止となったほか、団体ツアーの実施についても中止若しくは延期となっているところです。</li> </ul>
処理方針	<p>(情報発信)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○引き続き、SNS を活用し、ブナ原生林のトレッキング等のアクティビティや地域の食など、白神山地の魅力について、時機を捉えた情報発信を行っていきます。</li> </ul> <p>(関係自治体と連携した誘客促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○令和 5 年には白神山地が世界自然遺産登録30周年を迎えることや、世界文化遺産として「北海道・北東北の縄文遺跡群」が令和 3 年に新たに登録されたことからこの機会を契機として、関係自治体と連携しながら、白神山地と縄文遺跡群という 2 つの世界遺産を効果的に組み合わせ、マスメディア等を活用の上、旅のきっかけへとつながる効果的な情報発信に取り組むとともに、旅行会社とも連携し、旅行商品の造成促進といった誘客策にも取り組むこととしていますので、関係自治体におかれましても御協力をお願いします。</li> <li>○また、引き続き、世界自然遺産を有する他県や関係機関と連携の上「趣味の会」会員を対象とした講座の開催や、白神山地でのトレッキング等を組み込んだ団体ツアーを実施するなど、白神山地の魅力を広く体感いただくための取組を実施してまいります。</li> </ul>

県の処理方針

(環境生活部 自然保護課)

<p>経緯</p>	<p>【白神山地】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 世界自然遺産に登録 (H5年12月)</li> <li>2 白神山地世界遺産地域連絡会議設立・参画 (H7年7月)</li> <li>3 白神山地ビジターセンター整備 (H10年10月)</li> <li>4 環白神エコツアーリズム推進協議会設立・参画 (H23年2月)</li> <li>5 白神山地自然と文化体験ツアーリズム推進事業 (H22・23年度)</li> <li>6 白神山地世界遺産登録20周年記念事業実施 (H25年度)</li> <li>7 白神山地21年目からの保全と活用プロジェクト事業 (H26・27年度)</li> <li>8 白神山地「選ばれる世界遺産」プロジェクト事業 (H28・29年度)</li> <li>9 世界自然遺産「ビジット白神山地」プロジェクト事業 (H30・R元年度)</li> <li>10 世界自然遺産白神山地の価値と魅力を伝えるプロジェクト事業 (R2・3年度)</li> </ol>
<p>処理方針</p>	<p>【白神山地】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 他の世界自然遺産及び縄文遺跡群の自治体との連携              白神山地と同時に登録された屋久島を有する鹿児島県等と連携した取組を検討するとともに北海道・北東北の縄文遺跡群を訪れる観光客が白神山地にも関心を抱き足を運ばれるよう、各道県との連携を図っていききたいと考えております。</li> <li>2 白神山地の魅力の情報発信              世界自然遺産登録30周年を迎えるにあたり、県としては、改めて本県の豊かな自然の象徴である白神山地の資源価値を再認識し、県内外に広く情報発信していくことが重要であると考えています。              昨年と今年は県立美術館などで白神山地の自然や体験プログラムをバーチャル映像等で伝える展示会を開催し、その美しさや楽しさを情報発信したところです。              また、加えて今年度は日本在住の外国人ライターが白神山地を取材し、欧米豪向け情報サイトで配信することとしており、今後も関係機関と連携し、引き続き白神山地の魅力を情報発信していきます。</li> <li>3 世界遺産入口周辺の整備              県では、これまで白神山地ビジターセンターの映像体験ホールのシステム及び作品のリニューアルや、西目屋村の鷹ノ巣自然歩道の整備など、白神山地周辺の施設整備を実施してきました。              今年度は、白神山地ビジターセンターの展示物を時代やニーズに合わせリニューアルすることとしており、今後も必要に応じて、白神山地ビジターセンター等の受入環境を整備していきたいと考えております。              また、弘前駅から白神山地へのアクセスについては、白神山地ビジターセンターのホームページで引き続き周知を図っていきます。</li> </ol>